

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立平井西小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	65.0%	55.0%
令和 7 年度の目標	63.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	59.5%	40.4%
令和 5 年度の結果	44.6%	46.4%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	42.8%	38.7%
第 5 学年	56.7%	33.3%
第 4 学年	37.8%	46.6%
第 3 学年	38.5%	48.1%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・毎時間の板書をTeamsにアップし、家庭学習や授業の振り返りに活用できるようにする。 ・平井西授業メソッド ○モチベーション ○デモンストレーション ○コミュニケーション（重点） ○イノベーション の授業構造を意識する。	・東京ベーシックドリルの診断テストを年間 6 回実施。データ分析の結果から、毎週の計算タイムの単元の優先順位を決めて取り組む。 ・読書活動の充実を図るため、貸し出し図書の持ち帰り、図書ボランティアによる読み聞かせなど、本に対する興味・関心を高める。	・計算タイム・読書タイム・よむYOMUタイムの定着 ・西っ子家庭ルール習慣を活用し、 学年×10分の家庭学習の定着
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・「教室は間違えるところ!」という学級の雰囲気づくりに努め、安心して授業に参加して、自分自身の課題と向き合えるようにする。 ・学年アシスタントと連携して、個に応じた対応に努める。	- 東京ベーシックドリルの診断テストの結果を放課後補習事業者と共有して、苦手の克服に努める。 ・ドリルパークを活用し、個に応じた課題を出して、苦手分野の復習をする。	・児童の特性に合わせて、ドリルパークに取り組む問題数や時間を決めて、家庭と協力して実施し、学習習慣の定着を図る
成果指標	・全国学力調査 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていまか。」 8 5 %以上	・東京ベーシックドリルの診断テスト 8 割達成者 9 0 %以上	全国学力調査 ・「学校の授業時間以外に、普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。」 1 時間以上の回答割合 9 0 %以上